

第4学年 社会科 指導計画・評価規準

江戸川区立一之江小学校

単元名	わたしたちの県(オリエンテーション)			教科書のページ	p.128～129
配当時数	1 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	(1)

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
知っている都道府県を地図帳でたしかめよう p.128～129	1	①日本全国の中で、学習経験や生活経験を生かして知っている都道府県を出し合い、それぞれの都道府県の名称や位置、特産品などに関心をもたせる。 自分たちの県のまわりには、特色のあるいろいろな都道府県が広がっている。	[思判表]ノート，発言
めあて わたしたちが住む県の位置や特色，各地の人々のくらしについて，地図や資料を使って，調べてみましょう。			

小単元名	日本地図を広げて			教科書のページ	p.130～135
配当時数	2 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	(1)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 日本地図を広げて			
・日本の都道府県について、それぞれの名前と場所を調べてみましょう。 p.130～135	2	①p. 130～131の日本地図を見て、自分が住んでいる県がどのあたりにあるかを確認する。 ・兵庫県は、近畿地方にある。 ・岡山県、鳥取県、京都府、大阪府、和歌山県、徳島県、香川県に囲まれている。 ②p. 130～135の3つの日本地図を見ながら、特産品や地形などのテーマごとに整理されている47都道府県カードを活用して（空欄になっている箇所はクイズ形式などにする）、各都道府県の名称と位置をおさえさせる。 【p. 130～131の地方区分や県庁所在地がわかる日本地図】 ・県庁所在地が仙台市なのは宮城県だ。 ・八つの県と接しているのは何県だろう。 など 【p. 132～133の特産品の日本地図】 ・青森県はりんごの生産量が日本一なんだね。 ・「讃岐うどん」が有名なのは何県だろう。 など 【p. 134～135の地形がわかる日本地図】 ・都道府県の中でいちばん面積が広いのは北海道です。 ・形が金魚に似ている県があるそうだけど、どこの県だろう。 など ③47都道府県のカードを再度活用して前時までの学習を確認しながら、白地図に47都道府県名を書き込ませる。 ・（例）（兵庫県のカードを見せながら）日本海と瀬戸内海に面しているのはどの県だったのでしょうか。近畿地方にあります。 など	[知技]白地図

小单元名	1. 県の広がり			教科書の ページ	p.136～149
配当時数	8 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要 領の内容	(1)アイ

小单元の目標		都道府県の様子について、我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現することを通して、自分たちの県の地理的環境の概要を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小单元の 観点別 評価規準	知識・技能	- 我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などについて地図帳や各種の資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、県の様子を理解している。 - 調べたことを白地図や文などにまとめ、自分たちの県の地理的環境の概要を理解している。
	思考・判断・表現	- 我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、問いを見だし、県の様子について考え表現している。 - 県の位置や県全体の地形、主な産業、交通網や主な都市の位置などの情報を総合して県の地理的環境の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	県の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 日本の中の兵庫県			
・つかむ わたしたちの住む兵庫県について話し合っ、学習問題をつくりましょう。 p.136～137	1	①自分たちの県や周囲の様子について確かめる。 ・兵庫県は近畿地方にある。 ・北は日本海、南は瀬戸内海に面している。 ・淡路島も兵庫県だ。 ②自分たちの県と接している県やつながり（交通の様子）について確かめる。 ・兵庫県は、東は大阪府、西は岡山県などと接している。 ・東西の府県と新幹線や高速道路で結ばれている。 ③グループごとに県のどんなことを調べたいのか話し合う。 ・土地の様子を調べてみたい。 ・どのような産業があるかも調べたい。 学習問題 わたしたちの県の土地や交通の様子そして産業には、どのような特色があるのでしょうか。	[思判表]ノート、発言
(2) 学習の進め方(p.6～7を参考)			
・学習問題をつくり、学習の進め方をかくにんしょう。 p.6～7	1	①前時の学習を想起して学習問題を確認し、今後の「学習の進め方」を把握する。 ＜「学習の進め方」＞	[知技]ノート、発言

		・つかむー学習問題をつくる →学習問題について予想する →調べることを明らかにする ・調べるーみんなで協力して調べる →実際に見学に行って調べる →図書館で資料を探して調べる →インターネットで調べるなど ・まとめるー調べてわかったことや考えたことをまとめる ※まとめ方ーノート，カード，表などに，新聞などの作品づくりーメモや写真の活用 ・いかすー今までの学習を振り返りながら，自分にできることを考える ②「学習の進め方」を基に学習計画を立てる。 (例) <予想> ・北から南へ土地が低くなっている。 ・人口の多いところは平野が広がっている。 ・交通は神戸を中心に広がっている。 <調べること> ・県の地形 ・県の土地利用 ・県の交通の広がり <調べ方>手紙で質問したり，図書館やインターネットを利用したりする。 <まとめ方>ノートやカード，白地図などにまとめる。	
(3) 兵庫県の地形			
・調べる 兵庫県は，どんな地形をしているのでしょうか。 p.138 ～139	1	①県の衛星写真や地勢図を見て，気づいたことを話し合う。 ・山地や日本海側に緑が多い。 ・山から瀬戸内海や日本海に向かって川が流れている。 ②県内のどこにどのような地形が広がっているのか調べる。 ・瀬戸内海に沿って平野が広がっている。 ・県の真ん中あたりに山が多い。 ③県の地形について，わかったことをノートに書く。	[知技] 白地図，発言
(4) 土地利用の様子			
・調べる 地形によって，土地の使われ方は，どのようにちがう	1	①土地利用図や写真を見て，気づいたことを話し合う。	[知技] 白地図，発言

のでしょうか。 p.140～141		・氷ノ山にはスキー場がある。 ・淡路島のあわじ花さじきがきれい。 ②県内の土地利用の特色を，地形と結び付けて話し合う。 ・低地には市街地や田が広がっている。 ・市街地は瀬戸内海の海岸ぞいに多い。 ・山地には森林が多い。 ③土地利用について，わかったことをノートに書く。	
(5) 兵庫県の市や町			
・調べる わたしたちの住む兵庫県には，どんな市や町があるのでしょうか。 p.142～143	1	①わたしたちの市が県内のどこにあるか調べる。 ・神戸市は，兵庫県の県庁所在地だ。 ・県の南の方にあり，人口がいちばん多い。 ②県内の主な市町村の名前，位置，人口などを調べ，白地図に整理する。 ・コウノトリで有名な豊岡市は北部にある。 ・姫路城のある姫路市は瀬戸内海に面している。 ③主な市町村が，自分たちの市とどれくらいのきよりのなか調べる。 ・姫路市は神戸市から約50kmの所にある。	[知技] 白地図，発言
(6) 交通の広がり			
・調べる 県内の交通は，どのように広がっているのでしょうか。 p.144～145	1	①県内の主な道路や鉄道の広がりを調べる。 ②港や空港の位置を，地図帳で確かめる。 ③陸，海，空の交通網の特色を話し合う。 ・神戸や姫路など主な都市を結ぶように，交通が発達している。 ・県内の東西への移動は，鉄道や高速道路が通っていて便利だ。 ・瀬戸内海沿岸は，飛行機，船，列車，自動車での交通網が広がり，便利だ。	[知技] 白地図，発言
(7) 兵庫県の主な産業			
・調べる わたしたちの県には，どんな産業があるのでしょうか。 p.146～147	1	①県内に，どんな産業があるのか調べる。 ・淡路と明石の海でいかなごやたこが多くとれる。 ・三木市では，お酒の原料となる山田錦という米の生産がさかんだ。 ・姫路には鉄をつくる大きな工	[知技] 白地図，発言

		場がある。 ②調べたことを，産業マップの作品にする。 ③ホームページを開いて，産業マップを発表する。	
(8) 県の特徴をまとめる			
・まとめる 調べたことをもとに，兵庫県の特徴を地図にまとめてみましょう。 p.148～149	1	①これまで調べてわかったこと（カード）を地図に表す。 ・地形の特徴 ・土地利用の特徴 ・交通の特徴 など ②地図から，地形と土地利用のかかわりや交通と産業のかかわりなどについて話し合う。 ・瀬戸内海に沿った平野に大きな都市が多い。 ・大きな都市と都市を結ぶように交通網が発達している。 ・交通網が発達している大都市は，工業が盛んである。 など	[思判表]白地図，ノート，発言 [態度]白地図・ノート・発言

単元名	住みよいくらしをつくる(オリエンテーション)			教科書のページ	p.54～55
配当時数	1 時間	活動時期	5 月	学習指導要領の内容	(2)

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
だれが何をしているか，絵を見て考えてみましょう。 p.54～55	1	①教科書のイラストを見て，まちの中で，住みよいくらしをつくるためのしくみや人々の働きをさがし，これらの事業について話し合う。 まちには，水道やごみの処理などにかかわる仕事をする人がいるから生活できる。	[態度]ノート，発言
		めあて わたしたちのまちの健康で住みよいくらしをささえているしくみや人々の働きを調べてみましょう。	

小单元名	1. 水はどこから			教科書の ページ	p.56～75
配当時数	11 時間	活動時期	5～6 月	学習指導要 領の内容	(2)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)

小单元の目標		飲料水を供給する事業について、供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、飲料水の供給のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現することを通して、飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、学習したことを基に自分たちに協力できることを考えようとする。
小单元の 観点別 評価規準	知識・技能	・供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、飲料水の供給のための事業の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。
	思考・判断・表現	・供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見だし、飲料水の供給のための事業の様子について考え表現している。 ・飲料水の供給のための事業に見られる仕組みや人々の協力関係と地域の人々の健康や生活環境を関連付け、飲料水の供給のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基に、節水や水を汚さないために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・飲料水を供給する事業について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことを基に、節水や水を汚さないために自分たちが協力できることを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 生活の中での水の使われ方			
・つかむ わたしたちは、水をどのように使っているのでしょうか。 p.56～57	1	①写真を見て、生活の中で水を使う場面を発表し合う。 ・学校の流し場で手を洗う。 ・米づくりなど農業で利用する。 ・工場でも使う。 ②市の人口の変化のグラフと、市の給水量の変化のグラフをくらべる。 ・市の人口が増え続けている。 ・給水量は増えている。 ・ところが、ある時期から給水量の増え方が小さくなり、最近では給水量が減っている。	[思判表]発言
(2) 水のじゅんかんについて考える			
・つかむ 水のじゅんかんについて考え、学習問題をつくりましょう。 p.58～59	1	①水の循環の概念図を見て、わかったことや疑問に思ったことを話し合う。 ・水は山から町を流れて海まで流れていく。 ・水は川だけでなく地下でも流	[思判表]ノート

		れている。 ・ 水は、海で水蒸気になった後、雨になって降る。 ②水道メーターを観察して疑問に思ったことを話し合う。 ・ 水道管の先には何があるのかな。 ・ 水道メーターの水道管はどこで川とぶつかるのかな。 ③考えたことをもとに、学習問題をつくる。	
		学習問題 わたしたちの生活に欠かせない水は、どこでどのようにしてつくられ、送られてくるのでしょうか。	
(3) 水のふるさと			
・ 調べる わたしたちの学校や家までやってくる水のふるさとを、どこにあるのでしょうか。 p.60～61	1	①岡山県の地図から、旭川の源流がどこにあり、どこに流れ込んでいるのかを調べる。 ・ 上流には、湯原ダム、大山、蒜山、新庄村、真庭市などがある。 ・ 岡山市を通過して、瀬戸内海に流れ出ている。 ②「新庄村役場の山田さんの話」を読んで、わかったことを話し合う。 ・ 木を育てるには何十年もかかる。 ・ 水源の森に降った雨はゆっくりと地下にしみこみやがてわき出す。 ・ 森林のある山には、豊かな栄養を含み澄んだおいしい水を生み出す力がある。	[知技]ノート
(4) ダムの働き			
・ 調べる ダムには、どのような働きがあるのでしょうか。 p.62～63	1	①湯原ダムのある場所（蒜山高原）と岡山市の場所を地図（p. 60）で確かめ、資料②と③のグラフをくらべてわかったことを話し合う。 ・ 岡山県では、上流の方が雨の降る量が多いので、上流にダムをつくったんだ。 ・ 岡山市は、雨の降る量が少ないから、水が足りなくなるのではないかな。 ②資料④の「岡山県のダム」の分布図から、どのような場所にダムがあるかを読み取る。 ・ 上流や山の多いところにダムがある。 ・ 旭川以外の高梁川、吉井川にもダムがある。 ③「湯原ダムの横山さんの話」から、ダムで働く人々の気持ちを読み取る。 ・ 湯原ダム付近の美しい水が、ずっと下流の岡山市まで流れ	[知技]ノート

		続けてほしい。	
(5)(6) きれいな水をつくるために			
・調べる じょう水場では、どのようにして、水をきれいにしているのでしょうか。 p.64～65	2	①資料②の三野浄水場の写真を見てわかったことを話し合う。 - 川の中にいる。 - プールのような物が多く並んでいる。 - 周囲の建物とくらべるとかなり広い。 ②p. 65上の「水がきれいになるまで」の資料から、川の水を飲料水にするまでの流れを読み取る。 - 川の水の中にある土や砂、ごみを取り除く。 - 薬も入れる。 - コンピューターも使って水の管理をする。 ③p. 65「じょう水場の太谷さんの話」を読んでわかったことをまとめる。 - 浄水場をつくった理由は、昔、川や井戸の水を飲んで、病気でなくなった人がいて、市民の健康を考えたからだ。	[知技]ノート
(7) 安全でおいしい水をつくるために			
・調べる 安全でおいしい水をとどけるために、働く人は、どんなことに気をつけているのでしょうか。 p.66～67	1	①「水質試験所の小倉さんの話」を読んで、わかったことを発表し合う。 - 浄水場から送る水に、濁りやばい菌がないか検査をしている。 - 検査には新しい機械も使っている。 - 検査は、「水道法」という法律の基準にそって行っている。 ②浄水場から、家庭、学校などに水を届ける仕組み（資料④）や、資料⑤～⑦を見て、水道で働く人々が努力していることを読み取る。 - 配水池から太い水道管でまちまで水を送る。 - 太い水道管から細い水道管を通して、各家庭や学校に水を送る。 - 水漏れ検査や、水道管の工事など様々な努力を普段からしている。	[知技]ノート
(8) 大切な水をくり返し使うくふう			
・調べる わたしたちは、かぎりある水を、どのように使っているのでしょうか。 p.68～69	1	①家庭や学校で使った水は、どこに行くのか予想をして話し合う。 - そのまま川や海に流すと、川や海が汚れてしまうよ。 - きっと、水をきれいにする施	[知技]ノート

		設があるんだよ。 ②資料②③の写真とことば「下水しゅり場」を見て，建部浄化センターと，岡東浄化センターの水のゆくえを考える。 ・建部浄化センターできれいになった水は旭川を下って，下流の岡山市の三野浄水場できれいにされる。 ・上流の地域の下水はきれいにされて，下流の地域の水道水になる。 ・水は，何度もきれいにされて使われる。 ③岡山市の競技場の説明（資料⑤）を読んで，水を無駄遣いしない方法を考える。 ・トイレや水まきには，雨水を蓄えて使っている。	
(9) 水の流れをまとめる			
・まとめる 水がどのようにして送られてくるのかをまとめてみましょう。 p.70～71	1	①学習問題を確認した上で，五つのことばを使って，水が送られてくるまでの図に，説明の文を考えて書き入れる。 ・水源の森：水源の森は，雨水を蓄えて，きれいにしてゆっくりとわき水を出します。 ・ダム：ダムは，川の上流にふった雨をためておいて，川の水が少ないときに，放水して下流に水を流します。 (以下略) ②まとめができあがったら，友だちと見せ合ったり発表し合ったりして，よりよい表現に修正をする。 ③いろいろな場所を比較して，その特色を話し合う。	[思判表]図，説明文 [態度]図，説明文
(10) 旭川の源流をたずねて			
・いかす 旭川の上流の地いきの人々と交流して，川のかんきょうについて考えましょう。 p.72～73	1	①エコツアーの写真を見て，何をしているのか発表する。 ・川遊びをしている。 ・川で魚や沢がにをとっている。 ②公民館の館長さんの話を読み，エコツアーを行っている理由を考えて話し合う。 ・水の環境や森林の役割を知ってもらうために行っているのではないかな。 ・身近な地域や地球の環境のことを考える取り組みを行っている。 ③「旭川源流の碑」（資料③）の写真を見て，この碑は何のために立てたのか，考えて話	[思判表] [態度]ノート

		し合う。 ・旭川の源流の一つを記念して立てた。 ・源流としてわかりやすいように立てた。 ④次の時間に調べることを伝える。	
(11) きれいな川をつなげるために			
・いかす 旭川を大切に思っている人たちの活動を調べてみましょう。 p.74～75	1	①「『旭川源流の碑』を運ぶ」(資料①)の写真を見て、前時の碑を立てた理由も考えて話し合う。 ・上流の山で育った木から、下流で碑をつくり、再び源流に運んで、源流の碑を立てている。 ・源流は、旭川の上流から下流まで、いろいろな場所にある。 ②「旭川流域ネットワークの竹原さんの話」を読んで感想を話し合う。 ・上流と下流の人々のかかわりができるのが良い。	[思判表] [態度] ノート

小单元名	2. ごみのしやりと利用			教科書のページ	p.80～99
配当時数	12 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小单元の目標		廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業の果たす役割を考え、表現することを通して、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、学習したことを基にごみの減量のために自分たちが協力できることを考えようとする。
小单元の観点別評価規準	知識・技能	・処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。
	思考・判断・表現	・処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見いだし、廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。 ・廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け、廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基に、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことを基にごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) ごみを分別する			
・つかむ 家では、ごみをどのように出しているのでしょうか。 p.80～81	1	①家庭のごみの出し方を話し合う。 ・ごみを種類ごとに分けて出している。 ・ごみの種類によって、出す日がちがう。 ・どうしてごみを分けて出しているのかな。 ②種類別のごみの量のグラフから考えたことを話し合う。 ・燃えるごみが一番多い。 ・ごみの分別は大変だけど、とても大切なことだと思う。	[思判表]発言
(2) ごみ置き場の様子			
・つかむ 家から出されたごみは、どのようにしゅう集されるのでしょうか。 p.82～83	1	①ごみ置き場を見学して、気づいたことを発表し合う。 ・看板には、ごみを出す時に注意することが書いてある。	[思判表]ノート

		・種類ごとに出す曜日が決まっている。 ・ごみの出し方には細かいきまりがある。	
(3) ごみのゆくえ			
・つかむ ごみのゆくえを考えることを通して、学習問題をつくりましょう。 p.84～85	1	①ごみのゆくえを考えながら、学習問題をつくる。 ・収集されたごみはどのように処理されるのだろうか。 ・ごみの収集には、収集車やトラックが利用されている。 ・燃えるごみと粗大ごみとでは、収集車も処理場も違うと思う。 学習問題 分別して出され、しゅう集されたごみは、どのようにしてしよりされるのでしょうか。 ②学習計画を立てる。 ・清掃工場を見学して、燃えるごみの処理の仕方について調べてみたい。 ・調べたことはノートにしっかりとまとめることが必要だ。	[知技]ノート
(4)(5)もえるごみのゆくえ			
・調べる せいそう工場では、ごみをどのようにもやしているのでしょうか。 p.86～87	2	①清掃工場を見学して、わかったことをノートに整理する。 ・燃えるごみは清掃工場に運ばれる。 ・大きなクレーンや焼却炉がある。 ・1日に約270トンのごみを燃やしている。 ②燃やした後に残った灰のゆくえについて話し合う。 ・別の場所に埋め立てられるのではないかな。 ・再利用されるのではないかな	[知技]ノート
(6) もやした後のくふう			
・調べる ごみをもやした後のくふうには、どのようなものがあるのでしょうか。 p.88～89	1	①ごみを燃やした後の灰がどのように処理されるかを調べる。 ・処分場に埋め立てられる。 ・処分場には環境に配慮した様々な工夫がある。 ・灰の一部はエコスラグとなって生まれ変わり、道路工事などに利用される。 ②ごみを燃やした時の熱をどのように利用しているかを調べる。 ・温水プール ・温泉	[知技]ノート
(7)(8)ごみが生まれ変わる			
・調べる しげん物やそ大ごみは、どのように再利用されているのでしょうか。 p.90～91	2	①資源物や粗大ごみのリサイクルについて、リサイクル施設を見学して調べる。 ・びんやペットボトルはリサイ	[知技]発言

		・ 資源物の選別はとても大変だ。 ・ ペットボトルは服や再生ペットボトルになって生まれ変わる。 ②身のまわりにリサイクルがないかを考え、発表して話し合う。 ・ 自転車 ・ 服 ・ タンス	
(9) ごみしりがかかえる問題			
・ 調べる ごみしりがかかえる問題を、市はどのように計画的にかいけつしようとしているのでしょうか。 p.92～93	1	①「ごみのしりのうつり変わり」のイラストと、「市の人口の変化」のグラフを関連付けて、考えたことを発表し合う。 ・ 昔は、ごみを燃やしたり埋めたりしていた。 ・ ごみの処理にかかわる問題について、市は計画的に取り組んでいる。 ・ 分別が始まったから、ごみの量も減ってきている。 ②ごみの処理が抱える新しい問題について調べ、わかったことを発表し合う。 ・ 分別に協力しない人がいる。	[知技]発言
(10) グループでまとめる			
・ まとめる ごみのしりについてわかったことや考えたことをカードにまとめ、発表してみよう。 p.94～95	1	①「まなび方コーナー」の手順にしたがって、これまでの学習でわかったことや考えたことを発表し合う。 ・ リサイクルはとても大切なことだ。 ・ ごみを減らすことがまず必要だ。 ・ 自分にできることはあるのだろうか。 ②自分の考えをノートにまとめる。 ・ ごみの処理にはいろいろな工夫がある。 ・ ものを大切にすることがごみの減量につながる。	[思判表]ノート [態度]ノート
(11) ごみしりのくふう			
・ いかす ごみをへらすために、わたしたちのまわりでは、どのような取り組みが行われているのでしょうか。 p.96～97	1	①ごみを減らすために、家庭・学校・商店・地域がそれぞれどのような取り組みを行っているかを調べ、発表し合う。 ・ 家庭では、ごみの分別をしている。 ・ 学校では、ごみの減量に努めている。 ・ 商店では、エコバッグの利用	[態度]ノート

		を勧めている。	
(12) 自分にできることを考える			
・ いかす ごみをへらすために、自分にできることを考えてみましょう。 p.98～99	1	①ごみを減らすために自分にできることを考え、発表し合う。 ・お手伝いで買い物をするときには、エコバッグを使いたい。 ・学校のごみの分別に協力したい。 ・家でごみの分別をするときには手伝いたい。	[態度]ノート

単元名	自然災害からくらしを守る(オリエンテーション)			教科書のページ	補助教材※
配当時数	1 時間	活動時期	9 月	学習指導要領の内容	(3)

※この単元は，令和 2 年 3 月に配布される予定の補助教材をご使用ください。補助教材は，令和 2 年度から新課程用として採択された教科書会社のものが配布される予定です。令和 2 年度用教科書の採択で社会科教科書の変更があった場合，当該の発行者作成の指導計画をご参照ください。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
・わたしたちが住んでいる県では，どのような自然災害が起きてきたのでしょうか。	1	①わたしたちの住んでいる静岡県の地形と自然災害の様子を確かめ，気づいたことや考えたことを発表し合う。 ・静岡県は山があつて海に面してもいる。 ・だから自然災害も多いのかな。 ・いつ起きるかわからない地震にはどんな取り組みをしているのか。	[態度]ノート，発言
		めあて 地震から人々を守る活動について，調べてみましょう。	

小単元名	1. 地震からくらしを守る			教科書のページ	補助教材※
配当時数	9 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要領の内容	(3)ア-(ア)(イ), イ-(ア)

※この小単元は、令和2年3月に配布される予定の補助教材をご使用ください。補助教材は、令和2年度から新課程用として採択された教科書会社のものが供給される予定です。令和2年度用教科書の採択で社会科教科書の変更があった場合、当該の発行者作成の指導計画をご参照ください。

小単元の目標		自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、さまざまな備えをしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとし、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などについて、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、災害から人々を守る活動を理解している。 - 調べたことを年表や図表、文などにまとめ、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、さまざまな備えをしていることを理解している。
	思考・判断・表現	- 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、問いを見だし、災害から人々を守る活動について考え表現している。 - 自然災害が発生した際の被害状況と災害から人々を守る活動を関連付けて、その働きを考えたり、学習したことを基に地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	- 自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 - 学習したことを基に地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 地震が起きたら			
・つかむ 地震によって、どのようなことが起きるのでしょうか。	1	①わたしたちの住んでいる県では過去にどのような地震災害が起こったか知っていることを発表する。 〇〇で起きた地震は大きかったとお父さんが言っていた。 ②地震災害年表でも確かめてみる。 〇〇地震というものもあった。 - こうしてみると〇〇県は地震が多いね。 ③写真や地図を見て気づいたことを話し合う。 - 建物が壊れて、道路にひびが入っている。	[思判表]発言、ノート

		・火事も怖いけど津波も怖い。 ・この先、どんな対策をしているのだろう。	
(2) 地震とわたしたちの暮らし			
・つかむ 地震によって、わたしたちの暮らしはどうなるかを考え、学習問題をつくりましょう。	1	①前時と本時の写真をみて、地震がわたしたちの暮らしに与える影響や気づいたことについて話し合い、疑問から学習問題を作る。 ・家や建物が壊れて住めない。 ・学校の体育館にたくさんの人が避難して生活しているのをテレビで見たことがある。 ・私たちだけの力ではどうしようもない。	[思判表]発言、ノート
		学習問題 地震から暮らしを守るために、だれがどのようなことをしているのでしょうか。	
			②地震が起きる前と起きた後で、だれが、どのようにに着目して予想を立て、学習計画を立てる。
(3)家庭でそなえているもの			
・調べる 家庭では、どのような取り組みをしているのでしょうか。	1	①家庭では地震に備えてどのような取り組みをしているか、調べてきたことをカードに書いて話し合う。 ・避難用のリュックを準備している。 ・転倒防止の金具をたんすや食器棚につけている。 ・避難場所を家族で決めている ②書いたカードを、地震が起きる前の準備や備え、起きた後の協力や対策について分けてみよう。 ・避難用のリュックは準備。 ・災害伝言ダイヤルは対策。 ・準備と対策が大切だね。	[知技]ノート、インタビューメモ
(4)学校や通学路でそなえているもの			
・調べる 学校や通学路では、どのような取り組みをしているのでしょうか。	1	①学校や通学路ではどのような準備や対策をしているか、インタビューや調査活動をしてわかったことを起きる前と起きた後に分けて発表し合う。 ・避難訓練をしている。 ・通学路にも防災倉庫がある ・公園のブランコがテントになるらしい。 ②前時の家庭でそなえていることについての学習と比べて似ているところや違うところを話し合う。 ・起きる前の準備と起きた後の	[知技]ノート、インタビューメモ

		対策をしているところは同じ。 ・学校は人数が多いので避難訓練を何度もしたり，多くの食料を準備したりしなければならない。	
(5)市の取り組み			
・調べる 市役所では，どのような取り組みをしているのでしょうか。	1	①市ではどんな準備や対策をしているか，インタビューや調査活動をしたり，市のパンフレットやホームページを見たりしてわかったことを災害が起きる前と起きた後に分けて発表し合う。 ・防災計画を立てている。 ・津波に備えて大きな防波堤を建設している。 ②市の海側の津波の被害が予想される地域では，特にどのような準備や対策が取られているか考えたことを話し合う。 ・少しでも高台に避難できるように津波避難ビルがあるらしいよ。 ・津波から身を守るための避難方法を示すパンフレットも見ただことがあるよ。	[知技]ノート，インタビューメモ
(6)市と住民の協力			
・調べる 市と住民は，どのような取り組みをしているのでしょうか。	1	①市と地域住民はどのように連携しているか，調べてわかったことを発表し合う。 ・市役所の人と地域の代表の人が話し合いをしている。 ・市全体の避難訓練に参加してもらう。 ②市と地域住民は連携・協力して，どのような準備や対策をしているか，インタビューをしたり，市のパンフレットやホームページを見たりしてこれまでの学習を生かして発表し合う。 ・市役所の人と一緒に避難行動計画を立てている。 ・ハザードマップをつくるときは地域の人の意見が大切。	[知技]ノート，インタビューメモ
(7)住民どうしの協力			
・調べる 住民どうしでは，どのような取り組みをしているのでしょうか。	1	①地震災害などが起きたときのために，住民どうしが協力してつくっている地域の防災組織について調べ，わかったことや考えたことを発表し合う。 ・地域には自主防災隊という自	[知技]ノート，インタビューメモ

		主防災組織が作られている。 ・自主防災隊はなぜつくられたのだろう。 ②自主防災隊にはどんな組織班があつて、どんな役割をしているか調べてわかったことを整理しよう。 ③自主防災隊をうまく機能させるためには、日頃からどんな関わりを地域住民同士がしていなくてはならないか話し合う。 ・隣にどんな人が住んでいるか確かめる。 ・防災倉庫の中身を一緒に確かめておく	
(8) 地震からくらしを守る取り組みをまとめる			
・まとめる 地震からくらしを守るための、家庭や学校、市や地いき住民の取り組みについて、まとめてみましょう。	1	①学習問題をもとに、家や学校、市や地域の取り組みについてわかったことや考えたことをカードに書く。 ②それぞれの取り組みについてカードを整理して比べてみる。 ・どの立場でも地震が起こる前は準備が大切。 ・まずは自分の身は自分で守ることが一番。 ・自助と共助で何日間か持ちこたえなければならない。 ・大きな工事は役所や国に頼まないといけない。 ③学習問題について考えたことを話し合う。 ・自分たちにできることは何だろう。	[思判表]カード，発言 [態度]カード，発言
(9) ひなん所シミュレーション			
・いかす 地震が起きて、学校がひなん所になった場合、自分はどうするか考えてみましょう。	1	①地震からくらしを守るために、自分たちにできることを考える。 ・自分でできること，やるべきことがある。 ②もしも学校の体育館が避難所になったら，あなたは どうしますかという「避難所シミュレーション」というゲームをみんなでやってみる。 ・どうしてこれを選んだか理由が大切。 ・いろいろな考えがあるから，正解はないけど，避難所ではよく考えて行動しないとけない。	[思判表]発言，ゲーム [態度]発言，ゲーム

単元名	きょう土の伝統・文化と先人たち(オリエンテーション)			教科書のページ	p.102～103 および地域教材等を活用※
配当時数	1 時間	活動時期	10 月	学習指導要領の内容	(4)

※この単元は，地域副読本等をご活用いただき，歴史を伝える建造物や遺跡，民俗芸能などの文化財，地域の人々が楽しみにしている祭りなどの年中行事など，調べる対象を県内に広げてご指導ください。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
・わたしたちの身のまわりには，どのような古いものがあるでしょうか。	1	①それぞれが今までに気づいた古いものについて話し合う。 ・××には古いお祭りがある。 ・昔から続く芸能がある。 ・京都の古いお寺に行ったことがある，など。 ②地域の中で，今も残り伝わる史跡など，歴史を伝えるものを探し，かかわりの深い人物と結びつけながら関心をもつ。	[態度]発言
		めあて 県内には，どのような古いものが残されているでしょうか。また，きょう土のはってんにつくした人々は，どのようなことをしたのでしょうか。	

小単元名	残したいもの 伝えたいもの			教科書のページ	地域教材等※
配当時数	9 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要領の内容	(4)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)

※この小単元は、地域副読本等をご活用いただき、歴史を伝える建造物や遺跡、民俗芸能などの文化財、地域の人々が楽しみにしている祭りなどの年中行事など、調べる対象を県内に広げてご指導ください。

小単元の目標		県内の伝統や文化について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめることで、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現することを通して、県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受けついできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにするとともに、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、県内の文化財や年中行事の様子を理解している。 - 調べたことを年表や文などにまとめ、県内の文化財や年中行事には地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。
	思考・判断・表現	- 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、問いを見いだし、県内の文化財や年中行事の様子について考え表現している。 - 文化財や年中行事を保存したり受け継いだりして人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えたり、学習したことを基に地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	- 県内の文化財や伝統行事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 - 地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 県内の伝統・文化			
・つかむ 県内にある古くから残るものを出し合って、学習問題をつくりましょう。	1	①県内にある古くから残るものについて話し合う。 - 古い建物がある。 - 昔からの芸能がある。 - 地域の人たちが大切にしている踊りがある。など ②学習問題をつくり、学習計画を立てる。	[思判表]発言
		学習問題 県内にある古くから残るものには、どのような願いがこめられ、どのように受けつがれてきたのでしょうか。	
(2)(3) 古くから残る県内の建物			
・調べる 古くから残る建物は、どのように守られてきたのですか	2	①具体的な建物を一つ取り上げて調べる。	[知技]ノート，発言

ようか。		・インターネット，図書館の本，博物館，などで調べる。 ・保存会など関係者に電話などでインタビューする。 ・可能であれば見学する。 ②調べてわかったことをもとに，考えたことを話し合う。 ・建造年，建造の目的，改築などの変化。 ・保存会など関係者の取り組みについて。	
(4)(5) 古くから伝わる県内の芸のう			
・調べる 古くから伝わる芸のうは，どのように受けつがれてきたのでしょうか。	2	①具体的な一つの芸能を取り上げて詳しく調べてみる。 ・インターネット，図書館の本，博物館，などで調べる。 ・保存会など関係者に電話などでインタビューする。 ②写真や資料で確認しながら，わかったことをもとに，考えたことを話し合う。 ・時代による祭りの変化 ・祭りにおける人々の協力関係。 ・地域の人たちの誇りについて，など。	[知技]ノート，発言
(6)(7) 昔から続く県内の祭り			
・調べる 昔から続く祭りには，どのような願いがこめられているのでしょうか。	2	①具体的な祭りを一つ取り上げて調べる。 ・インターネット，図書館の本，博物館，などで調べる。 ・保存会など関係者に電話などでインタビューする。 ②写真や資料を確認しながら，調べてわかったことをもとに，考えたことを話し合う。 ・祭りが行われる時期，目的，形態，担い手，祭りの変化について，など。	[知技]ノート，発言
(8) 古くから残るものについて年表にまとめる			
・まとめる 県内にある古くから残るものについて，年表にまとめてみましょう。	1	①これまでに調べたことを発表して，年表にまとめる。 ・およその年代，重要な変化，その背景などがわかるように作成する。 ②つくった年表を見て，それぞれに共通することや違う点など，気づいたことを話し合う。 ・地域で残されてきたものにはどのようなものがあるか。 ・それらの古いものには，どのような思いや願いがこめられているか。	[思判表]年表，発言 [態度]年表，発言

		・それらを保存・継承している人は、どのような工夫や努力をしているか。	
(9) 身近な地いきを見直そう			
・ いかす 地いきに古くから残るものを受けつぐために、自分たちにできることを考えてみましょう。	1	①学習してきたことを生かして、地域に伝わる古くからあるものをどのように保存・継承していくか、自分たちにできることを考える。 ・積極的な担い手としてできること。 ・地域の一員としてできること。 ・新たな改善・創造の工夫。 ②実際に地域の行事を体験したり，課題解決のために情報を発信したりする取り組みを行う。 ・芸能クラブへの参加。 ・ポスターの作成。	[思判表] 発言，作品 [態度] 発言，作品

小単元名	谷に囲まれた台地に水を引く			教科書のページ	p.104～121
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	(4)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		県内の先人の働きについて、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現することを通して、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・ 当時の世の中の課題や人々の願いなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を理解している。 ・ 調べたことを年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。
	思考・判断・表現	・ 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、問いを見いだし、地域の発展に尽くした先人の具体的事例について考え表現している。 ・ 先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・ 県内の先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 石でできた橋			
・ つかむ 通潤橋を観察して、どのようなことがわかるかを話し合いましょう。 p.104～105	1	①通潤橋の写真を見て、気づいたことを発表する。 ・ 真ん中からいきよよく水がふき出している。 ・ 石でできた橋だ。 ・ 橋の下が丸い形になっている。 ②なぜ、このような橋をつくったのか、考える。 ・ 布田保之助は、どうしてこのような橋をつくったのだろう。 ・ 水がふき出していることと何か関係があるのかな。	[思判表]発言、ノート
(2) 人々の願い			
・ つかむ 白糸台地に住んでいた人々の願いをもとに学習問題をつくりましょう。 p.106～107	1	①白糸台地の地形に関する写真を読み取る。 ・ 深い谷に囲まれた台地だ。 ・ 水を確保するのが難しい。 ②白糸台地でくらす人々の願いを考える。 ・ 農業用水が十分でない。 ・ 飲み水でさえ確保できない。 ・ 何とかして水を引きたい。 ③学習問題をつくる。	[思判表]発言、ノート

		学習問題 布田保之助は、どのようにして通潤橋をつかったのでしょうか。	
(3)(4) 深い谷に囲まれた地形			
・調べる 通潤橋のまわりはどのような地形なのでしょうか。 p.108～109	2	①白糸台地の地図や鳥瞰図から地形の様子を読み取る。 ・土地の高さが色で分かれている。 ・等高線が高さを表している。 ・白糸台地は、島のような形だ。 ②白糸台地の地形の特徴を整理する。 ・用水路に沿って田畑や家が見られる。 ・北部よりも南部の方の崖が急になっている。 ・北部から南部に向けて、通潤橋を通る用水路が引かれている。	[知技]発言，ノート
(5) 用水路としての通潤橋			
・調べる 用水路は、どのように白糸台地に水を送っているのでしょうか。 p.110～111	1	①人物年表から布田保之助について読み取る。 ・責任感が強い地域のリーダー ・地域の人々のことを考えている。 ②イラスト地図から用水がどのように送られているかを読み取る。	[知技]発言，ノート
(6) 水を送るくふう			
・調べる 深い谷に囲まれた台地に、どのように水を送ったのでしょうか。 p.112～113	1	①水を送るのに、どのような問題点があったかを整理する。 ・高いところへ水を送る工夫 ・十分な高さのある橋の建設 ・水を通す丈夫な管 ②布田保之助の働きや工夫を調べる。 ・水がふき上がる原理 ・石の管	[知技]発言，ノート
(7) 石の管と橋の形のくふう			
・調べる 水を送る管や橋の形には、どのようなくふうがあるのでしょうか。 p.114～115	1	①水を送る石の管の工夫を調べる。 ・何度も実験を繰り返した。 ・特別なしっくいをつないだ。 ②橋を丈夫にするための工夫を調べる。 ・アーチ型の石橋	[知技]発言，ノート
(8) 石工たちのくふう			
・調べる 石工たちは、どのようにして通潤橋をつかったのでしょうか。 p.116～117	1	①人物年表から橋本勘五郎について調べる。 ・たくさんの橋をつかった。 ・明治政府に招かれた。 ②石工たちの工夫を調べる。 ・熊本城の石垣を参考にした。 ・石橋づくりの手順	[知技]発言，ノート
(9) 土地利用の変化ときょう土の人々			
・調べる 通潤橋ができて、人々の	1	①白糸台地の写真や棒グラフ	[知技]発言，ノート

くらしはどのように変わったのでしょうか。 p.118～119		「通潤橋ができた前後の田の広がり方」から、土地利用の変化を読み取る。 ・用水ができたことで、田畑が広がった。 ・用水路ができて、田の面積は大きく増えた。 ②地域の人々の生活の向上と先人の働きや苦心を考える。 ・この地域にとってなくてはならないものだ。 ・用水路は今も使われている。 ・今も地域の人々が感謝している。	
(10)(11)(12) 紙しばいにまとめる			
・まとめる 調べてわかったことや考えたことを、紙しばいにまとめて発表しましょう。 p.120～121	3	①これまでに学習したことを紙芝居にまとめ、発表する。 ・白糸台地の人々の願いを表現しよう。 ・絵に合わせた会話を工夫して考え、初めて見たり聞いたりした人にもわかるようにしよう。	[思判表]発言，作品 [態度]発言，作品

単元名	特色ある地いきと人々の暮らし(オリエンテーション)		教科書のページ	p.150～151
配当時数	1 時間	活動時期	1 月	学習指導要領の内容 (5)

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 県内の人々の暮らし(オリエンテーション)			
・兵庫県には、どのような特色をもった地いきがあるのでしょうか。 p.150～151	1	①県の中で行ったことのあるまちや、よく知っているまちを発表し合う。 ・篠山市に、丹波立杭焼を見に行ったことがある。 ・姫路城に行ったことがある。 ・豊岡にコウノトリを見に行った。 ②それぞれの地域の写真を見て、特色や人々の様子について話し合う。 ・お城にはたくさんの人が来ている。 ・商店街には大きな看板がある。 ・冬には暖かな淡路島で花祭りが開かれる。	[思判表]ノート
		めあて 県内の特色ある地域について調べ、自分たちの地いきとくらべてみましょう。	

小単元名	焼き物をつくるまち・丹波篠山市			教科書のページ	p.152～159
配当時数	7 時間	活動時期	1 月	学習指導要領の内容	(5)ア-(ア)(イ), イ-(ア)

小単元の目標		県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・ 特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 ・ 調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	・ 特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見いだし、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 ・ 特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・ 県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 焼き物のふるさと			
・ つかむ 丹波篠山市の焼き物について、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.152～153	1	①丹波篠山市今田町で受け継がれてきた焼き物づくりについて、手紙・写真・地図などの資料から、気づいたことを話し合う。 ・ 丹波篠山市今田町には、丹波立杭焼の窯元がたくさんある。 ・ とても大きなのぼりがまがあり、街の宝になっている。 ・ 丹波立杭焼は、給食の食器にも使われている。 ②丹波篠山市の焼き物づくりについて、気づいたことや疑問に思うことから学習問題をつくり、予想を話し合う。	[思判表]発言、ノート
		学習問題 丹波篠山市では、なぜ焼き物づくりがさかんになり、どのように焼き物をまちづくりに生かしているのでしょうか。	
(2)(3) 原料の土と焼きがま			

・調べる 丹波篠山市今田町では、なぜ焼き物づくりがさかんなのでしょう。 p.154～155	2	①航空写真や窯元の分布図から、焼き物に必要な土や燃料はどのように手に入れているか予想する。 ・山に囲まれているから、そこから土や木を取ってくるのではない。 ・川の水は関係あるのかな。 ②土や燃料となる木の入手方法について、写真や文章をもとに調べ、焼き物づくりがさかんなわけを考える。 ・地元や隣町の土を原料に使う。 ・山に囲まれ、燃料の木が手に入りやすい。 ・山あいには多数の窯元が広がっている。 ③「かま元の大上さんの話」をもとに、のぼりがまの歴史やよさを調べる。 ・約400年前に伝わり、今も使われている。 ・短い時間で大量の焼き物をつくらることができる。	[知技]発言、ノート
(4)(5) 丹波立杭焼をつくる			
・調べる 丹波立杭焼は、どのようにしてつくられるのでしょうか。 p.156～157	2	①写真をもとに、丹波立杭焼ができるまでの工程を調べ、難しそうなところや疑問に思うことなどを話し合う。 ・最初に粘土をこねて、形をつくる。 ・乾かした後に電気がまで一度焼く。 ・うわ薬をかけて、最後にのぼりがまで焼く。 ②窯元に聞きたいことを整理する。 ・焼き物づくりを始めたきっかけ ・一人前になるまでの期間 ・焼き物づくりのよさや魅力 ③インタビューや窯元からの手紙などからわかったことや感じたことを発表し合う。	[知技]発言、ノート
(6) 丹波立杭焼とまちづくり			
・調べる 丹波篠山市の人々は、丹波立杭焼をどのようにまちづくりに生かしているのでしょうか。 p.158	1	①陶器まつりについて調べる。 ・毎年10月に行われ、約10万人が来る。 ・窯元の人でも張り切っている。 ・陶の郷では、体験をしたり、特産品を買ったりできる。 ②「かま元での直売」の写真をもとに、陶器まつりを開くま	[知技]発言、ノート

		ちの人たちの気持ちや集まる人たちの思いについて話し合う。 ・窯元の人には力を入れて作品づくりをする。 ・丹波立杭焼が広まるといいと思う。 ・年に一度の楽しみなのではないかな。 ③丹波立杭焼の技術を伝え、よさを知ってもらうためのまちの人たちの取り組みについて考える。 ・陶芸教室での体験は焼き物に親しみを持つことにつながる。 ・特産品の販売は、丹波立杭焼の宣伝になる。	
(7)ノートにまとめる			
・ まとめる これまで調べてきたことを整理して、学習問題についてまとめましょう。 p.159	1	①調べてきたことを振り返り、絵を使いながらノートにまとめる。 ・焼き物づくりが盛んになったわけ ・丹波立杭焼を生かす取り組み ②学習を通して、わかったことや考えたことを話し合う。 ・伝統を生かした焼き物づくりが続けられている。 ・焼き物を生かしたまちづくりが進められている。 ・いつまでも焼き物の伝統を大切にしたいという人がたくさんいる。	[思判表]ノート [知技]ノート

小单元名	世界とつながるわたしたちの県			教科書のページ	p.178～185
配当時数	7 時間	活動時期	2 月	学習指導要領の内容	(5)ア-(ア)(イ), イ-(ア)

小单元の目標		県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小单元の観点別評価規準	知識・技能	・ 特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 ・ 調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	・ 特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見いだし、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 ・ 特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・ 県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

※この小单元では、県内の「国際交流に取り組んでいる地域」について学習します。『新編 新しい社会 3・4 下』は現行の学習指導要領にもとづいているため、県内の様々な地域を取り上げていますが、新学習指導要領の主旨にもとづき、調べる対象は県内の一つの地域にしぼるようご注意ください。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) ほかの地いきや国とのつながり			
・ つかむ 兵庫県とほかの地いきや国とのつながりについて話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.178～179	1	①教科書の写真から、兵庫県とほかの地域や国とのつながりを予想し合う。 ・ 外国からたくさんの観光客が来ている。 ・ 神戸港には外国からの船が来ている。 ・ 豊岡でつくられたお米が、他の地域でも売られている。 ②兵庫県と他の地域や国とはどのようなつながりがあるか疑問に思うことをもとに学習問題をつくり、予想を話し合う。	[思判表]発言、ノート
		学習問題 兵庫県は、ほかの地いきや国と、どのようにつながっているのでしょうか。	

(2)(3)港がある神戸			
・調べる 港がある神戸は，世界とどうつながっているのでしょうか。 p.180～181	2	①神戸港の写真や世界地図から，神戸と外国とのつながりについて予想し話し合う。 ・コンテナの積み下ろしに便利のように海岸線が直線になっている。 ・たくさんの国や地域が，神戸港とつながっている。 ②「みなと総局の永峰さんの話」をもとに，神戸港と世界とのつながりを調べ，まとめる。 ・世界有数の貿易港 ・年間に約7000隻の外国の貨物が入りし，約250万個のコンテナを扱っている。 ・神戸港は1000年以上の歴史があり，約140年前からは欧米との貿易も始まった。	[知技]発言，ノート
(4)(5) 兵庫県と世界とのつながり			
・調べる 兵庫県は，世界とどのようにつながっているのでしょうか。 p.182～183	2	①兵庫県と世界の国々との貿易以外のつながりについて調べる。 ・中国とのつながりを示す中華街 ・姫路城とフランスのシャンティイ城，明石海峡大橋とデンマークのグレートベルト橋などの姉妹関係 ・ロシアの協力によみがえったコウノトリ ②兵庫県と姉妹関係にある国の位置と，国旗を調べ，世界とどのようにつながっているか考える。 ・アメリカやブラジル，フランスなどいろいろな国と姉妹・友好提携を結んでいる。 ・どの国にも特徴的な国旗がある。 ・兵庫県の特色やよさが，世界のいろいろな国とつながっている。	[知技]発言，ノート
(6)(7) わたしたちの兵庫県			
・まとめる 兵庫県とほかの地いきや国とのつながりについて，調べてきたことを整理してノートにまとめましょう。 p.184～185	2	①空路・航路の地図で兵庫県とつながっている都市を調べ，気づいたことを話し合う。 ・航空路で北海道から沖縄県まで結ばれている。 ・フェリーで結ばれている都市もある。 ②これからの兵庫県について話し合い，自分の考えを文章にまとめる。 ・歴史や文化を生かした観光のまちづくりを大切にしたい。 ・コウノトリなどを育む自然環	[思判表]ノート [知技]ノート

		境の豊かなまちづくりを大切にしたい。 ・他の地域や国とのつながりを大切にして、魅力のある県にしていきたい。	
小単元名	コウノトリを育てるまち・豊岡市 ▼城を守るまち・姫路市(p.168～175)とどちらかを選んで学習しましょう。		教科書のページ p.160～167
配当時数	7 時間	活動時期	2～3 月
		学習指導要領の内容	(5)ア-(ア)(イ)、イ-(ア)

小単元の目標		県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の 観点別 評価規準	知識・技能	・特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	・特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見いだし、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 ・特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) コウノトリのまち			
・つかむ 豊岡市が、コウノトリで有名なわけを話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.160～161	1	①写真や文章から、豊岡市がコウノトリで有名なわけを読み取り、発表する。 ・豊岡市は、絶滅したコウノトリを自然に帰すことに成功した。 ②③の写真を見て、豊岡市の土地の様子について話し合う。 ・豊岡市は、山に囲まれていたり、大きな川が流れていたりする自然が豊かなところだ。 ・川のまわりには田んぼが広がっている。 ・コウノトリにとって暮らしやすいところなのだろうか。 ③コウノトリがよみがえった理由や工夫など、疑問に思うことから学習問題をつくり、予想を話し合う。	[思判表]発言、ノート

		学習問題 たくさんの人たちに親しまれているコウノトリは、どのようにして守られたり，生かされたりしているのでしょうか。
(2)(3) よみがえったコウノトリ		
・調べる コウノトリを自然に帰す取り組みは，いつごろから行われたのでしょうか。 p.162～163	2	①自然放鳥の記念式典の写真をとに，人々の気持ちを考える。 ・みんなとてもうれしそう。 ・豊岡市の人々はコウノトリを大切にしていると思う。 ②絶滅したコウノトリをよみがえらせる取り組みを，年表や文章をとに調べる。 ・絶滅前から保護して育てていた。 ・ロシアから6羽のコウノトリが送られた。 ・1992年からは自然に帰す取り組みをし，2005年に自然放鳥をした。 ③コウノトリの郷公園は，どんなことをしているか調べる。 ・野生のコウノトリが絶滅する前から人工飼育に取り組んでいた。 ・コウノトリを育て，自然に帰す取り組みをしている。 ・今は公園の外でも50羽以上の野生のコウノトリが生活している。 [知技]発言，ノート
(4)(5) コウノトリを守り育てる		
・調べる 豊岡市の人々は，コウノトリを守り育てるために，どんなことをしているのでしょうか。 p.164～165	2	①写真や文章からまちの人たちとコウノトリとのつながりについて読み取る。 ・トラックの運転手さんは，コウノトリが農道を渡るまで待っている。 ・コウノトリのために，農薬を減らして米作りをしている。 ②コウノトリを守り育てる工夫について知りたいことを整理し，市役所の方にメールや手紙で質問する。 ・田んぼにたくさんの生き物がいるようにする。 ・地域の人や農家の人や湿地やビオトープをつくっている。 ・小学生がコウノトリKIDSクラブに参加し，他の県とも交流をしている。 ③まちの人たちが，コウノトリについてどう思っているか話し合う。 ・自然環境を大切にして，コウノトリと共生しようとしている。 [知技]発言，ノート

(6) コウノトリを生かす			
・調べる 豊岡市の人々は、コウノトリをどのように生かしているのでしょうか。 p.166	1	①スーパーマーケットや朝市の写真から「コウノトリの舞」が売られていることを知り、どのようなものか調べる。 ・減農薬や無農薬の農産物に「コウノトリの舞」という印を付けている。 ②「コウノトリの舞」に、どのような願いがあるか考える。 ・安全で安心な農作物ということを知ってほしい。 ・多くの人に買ってほしい。	[知技] 発言, ノート
(7) ノートにまとめる			
・まとめる これまで調べてきたことを整理して、学習問題についてまとめましょう。 p.167	1	①調べてきたことを振り返り、絵を使いながらノートにまとめる。 ・コウノトリを守る取り組み。 ・コウノトリを生かす取り組み。 ②学習を通して、わかったことや考えたことを話し合う。 ・豊岡市の人々は、力を合わせてコウノトリを守り育てている。 ・コウノトリを生かしたまちづくりが進められている。 ・コウノトリが生きる自然を大切にしていきたい。	[思判表] ノート [知技] ノート

小单元名	城を守るまち・姫路市 ▼コウノトリを育てるまち・豊岡市 (p.160～167)とどちらかを選んで学習しましょう。			教科書のページ	p.168～175
配当時数	7 時間	活動時期	2～3 月	学習指導要領の内容	(5)ア-(ア)(イ), イ-(ア)

単元の目標		県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
単元の観点別評価規準	知識・技能	・ 特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 ・ 調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	・ 特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見いだし、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 ・ 特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・ 県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 城のまち			
・ つかむ 城のある姫路市について、知っていることやふしぎに思うことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.168～169	1	①姫路市に行ったときのことや、知っていることを出し合う。 ・ 県の西側にあつて瀬戸内海に面している。 ・ 姫路城は世界文化遺産だ。 ・ 外国からもたくさんの人が観光に来ていた。 ②姫路にどんな宝があるか確かめる。 ・ お城祭りやゆかた祭りがある。 ③姫路城について不思議に思うことから学習問題をつくり、予想を話し合う。 ・ どのように守られているのだろう。 ・ どのようなことに生かされているのだろう。 ・ 観光にも生かされているので	[思判表]発言、ノート

		はないかな。	
		学習問題 たくさんの人たちに親しまれている姫路城は、どのようにして守られたり、生かされたりしているのでしょうか。	
(2)(3) 姫路城を守る取り組み			
・調べる まちの人たちは、姫路城をどのように守ってきたのでしょうか。 p.170～171	2	①写真や年表などから、姫路城がどのように守られてきたのか調べる。 ・中村重遠の努力で、130年以上前に国が保存を決めた。 ・明治、昭和、平成にも修理が行われている。 ・今も、大切に守る取り組みが続いている。 ②「しっくい職人の柴田さんの話」から、城を守り伝える人は、どんな気持ちで働いているのか考え、話し合う。 ・大切な宝を、未来に伝えたい。	[知技]発言、ノート
(4)(5) 姫路城とまちづくり			
・調べる 姫路城を生かした活動はどのように行われているのでしょうか。 p.172～173	2	①写真やグラフを見て、気づいたことを出し合う。 ・姫路城を説明してくれるお年寄りや外国語ガイドをしてくれるボランティアの人がいる。 ・2005年には、外国語ボランティアが、4500人近くの観光客を案内している。 ・多くの市民が城とかかわっている。 ②姫路城を生かした取り組みについて、写真や文章から調べる。 ・小学生も姫路城の清掃に加わっている。 ・観光ループバスも走り、観光に生かされている。 ・映画など文化に生かされている。	[知技]発言、ノート
(6) 世界の宝 姫路城			
・調べる 姫路城は、なぜ世界文化遺産になったのでしょうか。 p.174	1	①姫路城が世界文化遺産になったわけを予想する。 ・歴史があるから。 ・何度も修理しながら、今も大切にされているから。 ・世界にはないお城だから。 ②「姫路城管理事務所の石川さんの話」をもとに、姫路城が世界文化遺産になった理由を調べ、話し合う。 ・木造建築としての美しさ。 ・やぐら、門、土の堀、石垣、堀などが良好に保存されている。 ・日本独自の城のつくり方をよく表している。	[知技]発言、ノート

		③姫路城のひみつを絵カードなどにまとめる。	
(7)ノートにまとめる			
・まとめる これまで調べてきたことを整理して，学習問題についてまとめましょう。 p.175	1	①調べてきたことを振り返り，絵を使いながらノートにまとめる。 ・姫路城を守る取り組み ・姫路城を生かす取り組み ②学習を通して，わかったことや考えたことを話し合う。 ・姫路の人々は，力を合わせて姫路城を守っている。 ・姫路城を生かしたまちづくりが進められている。 ・世界の宝「姫路城」を大切に守り，未来に伝えていきたい。	[思判表]ノート [知技]ノート

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 特色ある地いきのよさを伝えよう			
・いかす 県内の特色ある地いきについて整理し，そのよさをカードにかいてみんなに伝えてみましょう。 p.176～177	1	①県内の特色ある地いきについて，調べたことをもとに，特色がわかるように表にまとめる。 ・宝物 ・地域の特色 ・守るための活動（人々の願い） ②それぞれの違いや共通点について，比べて考えたことを発表し合う。 ・伝統的な産業，伝統文化など，それぞれの地域に特色やまちの宝がある。 ・どの地域でも，特色やまちの宝を生かしたまちづくりに取り組んでいる。 ③特色ある地域のよさを伝えるカードをつくり，相互に発表したり，校内外に掲示したりする。	[思判表]発言，作品 [態度]ノート・発言・作品・観察